

IV 精密検査業務の概要

◎精密検査実施状況

＜と畜検査関係＞

令和7年度のと畜検査においては、672頭（延べ2055検体）について精密検査を実施した。（牛海綿状脳症スクリーニング検査を除く。）

＜TSE検査関係＞

平成29年度から牛海綿状脳症スクリーニング検査対象が変更となり、令和7年度は牛、めん羊及び山羊すべてで検査は実施されなかった。

＜食鳥検査関係＞

令和7年度の食鳥検査においては、精密検査を要するものがなかったため、精密検査は実施されなかった。

◎食肉衛生に関する検査・調査

＜残留抗菌性物質の検査＞

とさつ解体時に注射痕等が認められた牛2頭について検査を実施した結果、陽性事例はなかった。

＜残留有害物質モニタリング調査＞

令和7年度に行ったモニタリング検査数は405件であった。その内訳は、抗生物質405件であり、残留基準値以上の残留有害物質が検出されたものはなかった。

＜放射性物質スクリーニング検査＞

群馬県では平成23年7月31日から県内でと畜された肉牛について全頭検査を実施していたが、現在は超過事例もなく、安全性に問題がないこと、検査を終了しても流通上の混乱を招かないと判断し、令和2年3月末をもって終了した。

1 精密検査の実施状況

1) 検査区分別精密検査実施状況(牛海綿状脳症を除く)(令和7年度)

検査対象病名 区 分		精密検査頭羽数	検査区分別精密検査検体数				
			総検体数	細菌検査	寄生虫検査	理化学検査	病理検査
総 数		672	2,055	956	0	87	1,012
と 畜 場 法	小 計	672	2,055	956	0	87	1,012
	豚 丹 毒	224	804	804	0	0	0
	サルモネラ	2	12	12	0	0	0
	非定型抗酸菌症	4	36	0	0	0	36
	トキソプラズマ病	0	0	0	0	0	0
	膿 毒 症	33	33	0	0	0	33
	敗 血 症	24	140	140	0	0	0
	尿 毒 症	27	27	0	0	27	0
	高度の黄疸	52	52	0	0	52	0
	高度の水腫	26	26	0	0	0	26
	高度の腫瘍・白血病	111	750	0	0	0	750
	全身に及ぶ変性	12	12	0	0	0	12
	全身に及ぶ炎症産物等による汚染	155	155	0	0	0	155
	そ の 他	2	8	0	0	8	0
食 鳥 検 査 法	小 計	0	0	0	0	0	0
	鶏 白 血 病	0	0	0	0	0	0
	マレック 病	0	0	0	0	0	0
	腫 瘍	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0

2) 牛海綿状脳症スクリーニング検査実施状況

年 度	総 数					(株)群馬県食肉卸売市場					高崎食肉センター				
	検査頭数 (※1)	再 検 査		確 認 検 査		検査頭数 (※1)	再 検 査		確 認 検 査		検査頭数	再 検 査		確 認 検 査	
		実施頭数	実施率	陽性頭数	陰性頭数		実施頭数	実施率	陽性頭数	陰性頭数		実施頭数	実施率	陽性頭数	陰性頭数
令和7年度	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	※ 3				
令和6年度	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0					
令和5年度	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0					
令和4年度	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0					
令和3年度	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0					
令和2年度	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0					
令和元年度	1	0	-	0	0	1	0	-	0	0					
平成30年度	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0					
平成29年度	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0					
平成28年度	555	0	-	0	0	555	0	-	0	0					
平成27年度	623	0	-	0	0	623	0	-	0	0					
平成26年度	594	0	-	0	0	594	0	-	0	0					
平成25年度	3,615	0	-	0	0	3,615	0	-	0	0					
平成24年度	15,615	0	-	0	0	15,615	0	-	0	0					
平成23年度	13,181	0	-	0	0	13,181	0	-	0	0					
平成22年度	19,411	1	0.01%	0	0	15,688	1	0.01%	0	0	3,723	0	-	0	0
平成21年度	22,048	1	0.00%	0	0	17,214	1	0.01%	0	0	4,834	0	-	0	0
平成20年度	22,398	16	0.07%	0	0	16,667	10	0.06%	0	0	5,731	6	0.10%	0	0
平成19年度	22,433	1	0.00%	0	0	16,960	0	-	0	0	5,473	1	0.02%	0	0
平成18年度	22,084	10	0.05%	0	0	17,366	10	0.06%	0	0	4,718	0	-	0	0
平成17年度	22,077	29	0.13%	0	1	18,140	25	0.14%	0	1	3,937	4	0.10%	0	0
平成16年度	23,826	78	0.33%	0	6	19,961	70	0.35%	0	6	3,865	8	0.21%	0	0
平成15年度	22,407	32	0.14%	0	4	18,531	27	0.15%	0	3	3,876	5	0.13%	0	1
平成14年度	23,574	27	0.11%	0	0	19,700	24	0.12%	0	0	3,874	3	0.08%	0	0
平成13年度(※2)	14,184	53	0.37%	0	3	11,883	42	0.35%	0	3	2,301	11	0.48%	0	0
累 計	248,626	248	0.10%	0	14	206,294	210	0.10%	0	13	42,332	38	0.09%	0	1

※1:検査頭数は、年度内に実施した牛海綿状脳症スクリーニング検査頭数である。

※2:13年度は、検査を開始した10月18日以降の実績を示す。

※3:平成23年度以降は高崎市(中核市)が独自に実施するため本表に計上しない。

2 食肉衛生に関する検査・調査

1) 残留抗菌性物質の調査結果

① 畜種別検出状況(令和7年度)

畜 種	検査頭数	検出頭数
牛	2	0
子牛	0	0
豚	0	0
馬	0	0
合 計	2	0

② 薬剤の検出状況

年度	畜種	頭数	検出薬剤
令和7年度	—	0	—
令和6年度	—	0	—
令和5年度	—	0	—
令和4年度	—	0	—
令和3年度	—	0	—

2) 残留有害物質モニタリング調査

① 調査実施検体数(令和7年度)

項目 検体			合計	抗生物質	内部寄生虫用剤	合成抗菌剤
計			405	405	0	0
牛	57頭	筋肉	57	57	0	0
		腎臓	57	57	0	0
豚	89頭	筋肉	89	89	0	0
		腎臓	82	82	0	0
鶏	63 ロット	筋肉	63	63	0	0
		腎臓	57	57	0	0

② 調査結果

調査を実施した405検体中、基準値以上の残留有害物質を検出したものはなかった。

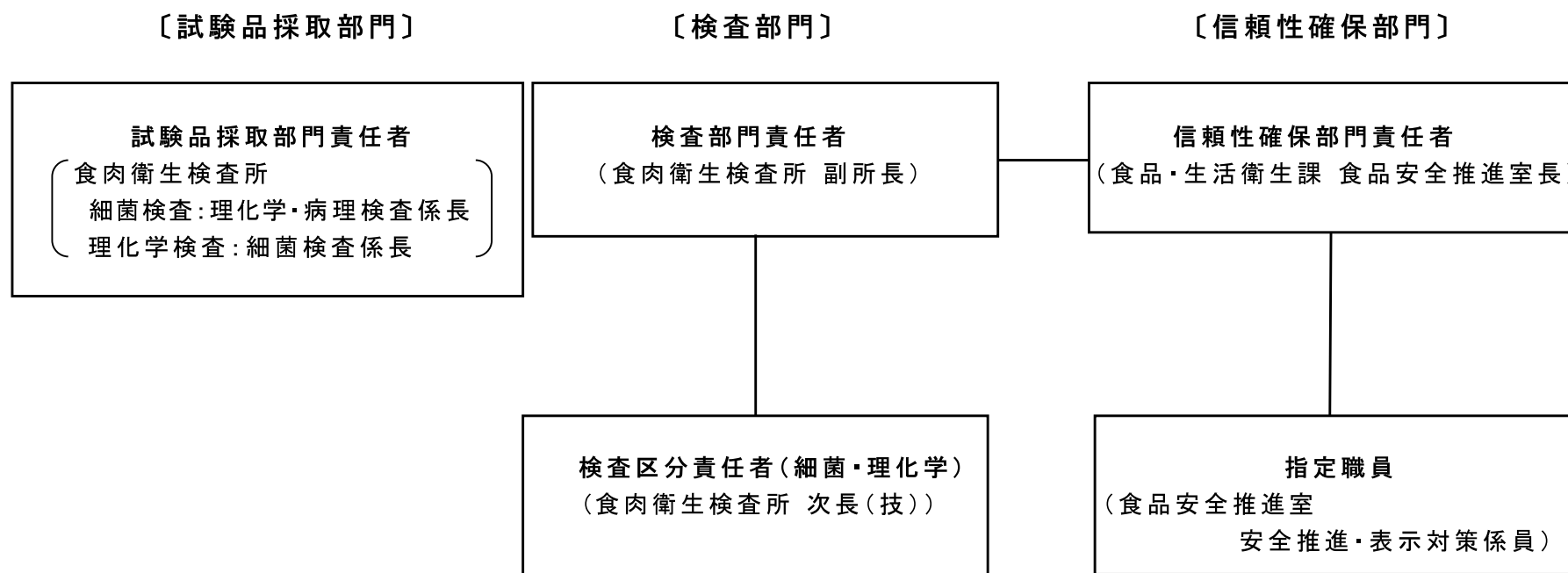
③調査薬剤別検体数(調査実施検体数の再掲)(令和7年度)

		合計	抗生物質	内部寄生虫用剤	合成抗菌剤
計		405	405	0	0
牛	筋肉	57	57	0	0
	腎臓	57	57	0	0
豚	筋肉	89	89	0	0
	腎臓	82	82	0	0
鶏	筋肉	63	63	0	0
	腎臓	57	57	0	0

3 食肉衛生検査所における検査の業務管理基準（GLP）について（令和8年4月1日現在）

当所が実施する各種試験検査のうち、GLPの対象となる検査は、食肉中の抗菌性物質等の残留有害物質モニタリング検査、対米等輸出食肉に係わるサルモネラ検査及び腸管出血性大腸菌（STEC）検査である。

組 織 図



※群馬県食品衛生検査施設業務管理要綱
（最終改正：令和6年4月1日）に基づく

学会・研究会等への報告

	調査研究題目	発表者	報告年月日	報告学会等
1	豚解体処理で枝肉に付着した異物の微生物調査	藤巻 かな子	令和7年9月7日	・令和7年度獣医学術関東・東京合同地区学会
2	豚糞便由来 <i>Escherichia albertii</i> の性状について	赤石 晴美	令和7年9月26日	・令和7年度全国食肉衛生検査所協議会微生物部会研修会
3	検印インクの液だれ等に関する協議事項について	多胡 絵理香	令和7年10月24日	・令和7年度関東甲信越ブロック食肉衛生検査所協議会業績発表会
4	地方病性牛伝染性リンパ腫の補助診断法の検討	塩田 悠月	令和7年10月24日	・令和7年度関東甲信越ブロック食肉衛生検査所協議会業績発表会
5	鶏の体腔内腫瘍	野田 瑞穂	令和7年10月30日	・全国食肉衛生検査所協議会第82回病理部会研修会
6	牛の脾臓	菊島 拓真	令和7年10月30日	・全国食肉衛生検査所協議会第82回病理部会研修会